

第5回七尾市総合計画審議会会議録（要旨）

日 時	平成20年9月8日（月）13時30分～15時30分
会 場	七尾市役所201会議室
委 員	<p>【出席】前山（正）会長、北原副会長、長田委員、森下委員、浜浦委員、神戸委員、石垣委員、関軒委員、川島委員、藤井委員、前山（英）委員、岡田委員</p> <p>【欠席】永江委員、田中委員、濱委員、高島委員、坂口委員、津田委員、森山委員、谷内委員</p>
事務局	永井総務部長、尾田企画政策部長、平田企画経営課長、原田係長、嶋本主任、久水主任
内 容	
<p>○ 会長あいさつ</p> <p>○ 報告事項</p> <p>【報告第8号】今後のスケジュール （委員からの意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートのすり合わせは、いつ行うのか。 →（事務局）アンケートについては、20日以降に取りまとめを行い、庁内で最終的に検討した目標値を再度提出するので、それを審議していただきたい。 <p>【報告第9号】3分科会の報告 （各分科会長報告） （事務局から）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員から指摘のあったものについて、修正できるものは修正してきているが、実施計画の中で進めるような具体的な事務事業については、基本計画に記載せずに実施計画で検討していきたい。 <p>○ 協議事項</p> <p>【協議第8号】分野別計画書（協働と行政経営、人権尊重・男女参画） （委員からの意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推進者は、市民と職員となっているが、議員はどこに入るのか。 →（事務局）議員は、特別職の職員でもあり、市民でもあるので両方兼ねている。 ・協働コーディネーターは、何人ぐらい想定しているのか。 →（事務局）人数については、実施計画で検討したい。 ・ななお市民活動プチセンターの運営とあるが、何をしているところなのか。 →（事務局）プチセンターは、フォーラム七尾で市民活動を目的として開設されている。 	

- ・市民協働の推進については、基本方針を決めるのが先でないか。仕組みづくりの促進を先にして、市民・職員の意識改革が次に来るのではないか。
 - （事務局）基本方針を定めるときでも、協働で定めなければならない。定める前の協働をするためには、職員・市民ともに勉強の機会を充実させなければならないと考えている。
- ・カタカナで書いて、括弧書きで日本語を記載せずに、日本語で書いてから括弧書きでカタカナ記載できないか。
 - （事務局）中学生がわかる範囲内で記載したい。
- ・主な目標値については、基本方針③の地域コミュニティ活動の推進だけを考慮した目標値にするのか。
 - （事務局）①、②の目標値数値については、個別の事務事業であるかもしれないが、一番大きなもの、代表的な数値をここでは記載してある。
- ・目標値について、ほとんど意見が反映されていなかったのが、改めて議論をさせてもらえるのか。
 - （事務局）アンケートがまとまった時点で検討させていただきたい。
- ・市民・職員の意識改革とあるが、職員は当然のことだと思われるので、行政や関係団体と表現を変えられないか。
 - （事務局）文言の修正をさせていただきたい。
- ・町会か町内会か統一したほうが良い。
 - （事務局）町会と修正させていただきたい。
- ・アウトソーシングとは何か。
 - （事務局）外注することである。行政用語的な使われ方をしているので、わかりにくいかもしれないので、検討させていただきたい。
- ・職員研修については、フォーメーションで考えているのか。エデュケーションで考えているのか。
 - （事務局）どちらも含めた体制を整備する必要がある。
- ・カタカナ文字（横文字）を日本語で記載できないか。
 - （事務局）例えば、ICTなど日本語に直すと逆にわかりにくい言葉もある。一部注釈をつけているものもあるが、必要な方向性について、どうしてもカタカナやアルファベットでしか表現できないものもあるので、ご容赦願いたい。
- ・職員の適正化とか外部委託については、その基準を明確にし、今までしてきた業務ができていないかどうかのチェックをしていかないといけない。業務が回らないから、残業が増える課があったり、残業しないで帰る課もある。適正な人員配置についてどういうふうを考えているのか。
 - （事務局）公の仕事について、官がやるか民がやるか縦割りのなすみ分けで仕事をしてきたが、現在では公の概念が拡大されている。事業ごとによってすみ分けが求められている。ビジネス的に成立するのは、アウトソーシング等でやっていく。福祉的なものについては、地域の方々と協働でやっていく。残業のバランスについては、しっかりチェックをかけて、標準的な対応をしていきたい。

- 自治体の共同処理について、内部で議論したのか。もっと共同処理ができるものがあれば記載したほうが良い。
→（事務局）広域圏と個別事業のすり合わせはしていないが、広域的な視点は外せないなので、検討していきたい。
- 財政に関わる指標について、市民一人当たりいくら借金があるかなど、わかりやすい指標にできないか。
→（事務局）財政状況については、別のページで、構想とともに次回に示したい。
また、総合計画ではどうしても限界があるので、別の方法で、いろいろな角度から機会があるごとに、詳しく知らせていくようにしたい。
- 男女共同参画が理想的に展開すると、婦人会や女性会といった組織がいらなくなると思う。町会組織の中に女性がどれだけ加わっていくことができるかということが大事であり、それが、まちづくりにつながっていくと思う。

○その他

（事務局から）

- 次回の日程については、19日（金）午後2時から、ミナ.クルの3階会議室にて会議を開催する予定である。